



獅子舞が来たよ!

みやま保育園

第398回 9月定例会

一般質問

- | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|
| ・ 高久岡山 | ・ 坂後嶋本 | ・ 純淳正悟 | ・ 子司昭朗 | ・ 河平山 | ・ 島田中 | ・ 三真修 | ・ 奈実己也 |
| ・ 高久岡山 | ・ 坂後嶋本 | ・ 純淳正悟 | ・ 子司昭朗 | ・ 河平山 | ・ 島田中 | ・ 三真修 | ・ 奈実己也 |
| ・ 高久岡山 | ・ 坂後嶋本 | ・ 純淳正悟 | ・ 子司昭朗 | ・ 河平山 | ・ 島田中 | ・ 三真修 | ・ 奈実己也 |
| ・ 高久岡山 | ・ 坂後嶋本 | ・ 純淳正悟 | ・ 子司昭朗 | ・ 河平山 | ・ 島田中 | ・ 三真修 | ・ 奈実己也 |

議会傍聴

9月定例会 73人
〔27年度累計 173人〕

9月定例会－主な内容－

- こんなことが決まりました…………… 2～3
- 常任委員会審査報告等…………… 4
- 一般質問発言者…………… 5
- 一般質問の内容について…………… 6～11
- 平成26年度会計決算の認定…………… 12
- 行政視察報告…………… 13～15
- 議会の動き…………… 16

9月
定例会

こんなことが決まりました。

9月定例会は、8月31日から9月28日まで29日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定などを含む議案15件を原案のとおり、認定・可決しました。

制定・改正された条例

小野市不法投棄防止条例の制定について

市内の不法投棄対策に年間約100万円近い経費がかかっている中で、不法投棄を未然に防止し、不法投棄への抑止力と不法投棄そのものの減少を狙いとして新たに条例を定めようとするもの。また、不法投棄防止対策設備（防止柵、監視カメラ、照明設備等）設置へ新たな助成制度を設けるとともに、不法投棄の現場を目撃したときの市への情報提供や、それに対する、報奨金の制度を設け、不法投棄に対し、地域住民、土地所有者、市が一体となって不法投棄は絶対に許さないという姿勢を明確化するもの。「公布の日から施行」

《条例における主な不法投棄防止対策》
1 不法投棄防止対策設備設置費の助成

これまで不法投棄が行われた

2

ことがある土地において土地所有者が不法投棄防止のための柵、網、看板、監視カメラ等を設置する経費の2分の1（上限50万円）を助成。

不法投棄情報の提供者に対する報奨金の支給

不法投棄に関する情報提供のうち、車両ナンバーや名前、人数等、警察が廃棄物処理法第16条（投棄禁止）違反として捜査を行うに際し、行為者の特定に有益と認められるものに対し1件あたり2万円（廃棄物の撤去に至らない場合は1万円）の報奨金を支給。

小野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（番号法）の施行に伴い、個人番号をその内容を含む個人情報と取扱いについて、番号法の内容と

整合性を図るために改正しようとするもの。「平成27年10月5日から施行」

小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、交付される「通知カード」及び「個人番号カード」の紛失等の際の再交付に係る手数料を定めようとするもの。「通知カードは平成27年10月5日から、個人番号カードは平成28年1月1日から施行」

〔改正内容〕

通知カードの再交付：…500円
個人番号カードの再交付：800円

主な議案

字の区域の変更について（県営万勝寺脇本地区ほ場整備事業に係るもの）
県営万勝寺脇本地区ほ場整備事業

の施行に伴う当該地区の字の変更に
ついて、地方自治法第260条第1
項の規定により議会の議決を求め
うとするもの。

〈変更される字〉

145筆

事業規模：37・3ha

事業費：585,000千円

（国50％・県27・5％・
市10％・地元負担12・
5％）

事業年度：平成22年度～平成27年度

議員提出議案

小野市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

現行の会議規則は、議員が「事故」のため、本会議又は委員会に出席できないときは、理由を付けて議長に届け出ると定めているが、近年の男女共同参画の状況に鑑み、本市議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進する必要がある理由に「出産」を明記しようとするもの。「公布の日から施行」

補正予算関係議案

平成27年度小野市一般会計補正予算（第2号）

補正額 153,500千円 追加
補正後総額 19,445,100千円

小野市議会だより

平成27年度小野市国民健康保険特別 会計補正予算(第1号)				平成27年度小野市後期高齢者医療特 別会計補正予算(第1号)				平成27年度小野市介護保険特別会計 補正予算(第2号)				平成27年度小野市水道事業会計補正 予算(第1号)			
補正 額	60,000千円	追加		補正 額	10,200千円	追加		補正 額	59,600千円	追加		補正 額	20,000千円	追加	
補正後 総額	6,805,000千円			補正後 総額	501,200千円			補正後 総額	3,732,600千円			補正後 総額	1,225,000千円		
補正 額	3,000千円	追加		補正 額	651,800千円	追加		補正 額	1,225,000千円	追加		補正 額	43,700千円	追加	
補正後 総額	742,000千円			補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	5,000千円			補正後 総額	82,300千円		
補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加	
補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円		
補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加		補正 額	651,800千円	追加	
補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円			補正後 総額	661,500千円		

今回の補正予算は、地方創生に関連した各事業に係る経費、マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付関連経費、大池総合公園常設ステージ整備に係る経費、台風11号による公共土木災害復旧費用および職員の人事異動に伴う人件費等を予算措置するものです。

地方創生関連事業では、プロモーション動画作成などのUIターン推進事業、シニア世代の社会参加推進事業、育児ファミリーサポートセンター利用費助成事業を追加しています。また、ふるさと納税「ふるさと小野応援プログラム」リニューアルに伴う経費、地元要望に基づく道路関連経費を追加しています。

平成27年度 一般会計9月補正予算概要

(単位:千円)

内 容	担当課	補正額	補正後額
住むならおの推進事業経費（地方創生） 特産品／プロモーション動画、UIターン推進パンフレット作成	総合政策部	3,000	3,000
住基・地方税等関係システム整備経費 住民票／印鑑証明／所得証明／課税証明書のコンビニ交付システム導入	情報政策課	25,000	45,691
コミュニティバス運行事業経費（地方創生） ・観光ルート（駅～ゆびか～浄土寺等）の実証実験 ・H28.1月から3月の日曜日にバス2台で実施	総合政策部	3,300	81,326
ふるさと納税推進経費 ・地元特産品のPR等、ポータルサイトへの登録と寄附者への記念品贈呈を開始	観光交流推進課	4,000	5,000
地域介護拠点整備事業経費 認知症高齢者グループホーム等、地域密着型サービス施設整備助成	高齢介護課	74,394	74,394
シニア世代社会参加推進事業経費（地方創生） 高齢者の社会参加促進のためのセミナー、ワークショップ開催	エイジルネサンスプロジェクト室	1,350	1,350
育児ファミリーサポートセンター事業経費（地方創生） ファミリーサポートセンター利用費用の半額助成(600円⇒300円)	子育て支援課	1,000	5,438
不法投棄対策経費 ・不法投棄設備設置補助金（50万円×3か所） ・不法投棄通報者報奨金（2万円×5件）による増	市民安全部	1,600	8,292
道路補修経費 地元要望に伴う補修対応（市道122号線外）による増	道路河川課	5,000	45,000
大池総合公園整備事業 各種イベントに利用できる常設ステージを市民広場に整備	まちづくり課	20,000	50,000
現年発生災害復旧事業 7月の台風11号による公共土木災害の復旧費用 市道122(榊町)、市道1507(日吉町) 外4か所	道路河川課	13,000	13,003
人件費補正 職員の人事異動に伴う人件費等の補正	総務課	△60,344	3,082,941

補正総額:153,500,000円

一般会計補正予算の主な内容

常任委員会審査報告

《各常任委員会に付託された議案》

◎総務文教常任委員会◎

- 議案第32号 平成26年度小野市歳入歳出決算の認定について
 議案第33号 平成26年度小野市都市開発事業会計利益の処分及び決算の認定について
 議案第36号 平成27年度小野市一般会計補正予算（第2号）
 議案第40号 平成27年度小野市都市開発事業会計補正予算（第1号）
 議案第42号 小野市不法投棄防止条例の制定について
 議案第43号 小野市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について



審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。

◎民生地域常任委員会◎

- 議案第32号 平成26年度小野市歳入歳出決算の認定について
 議案第34号 平成26年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
 議案第35号 平成26年度小野市下水道事業会計決算の認定について
 議案第36号 平成27年度小野市一般会計補正予算（第2号）
 議案第37号 平成27年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
 議案第38号 平成27年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
 議案第39号 平成27年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
 議案第41号 平成27年度小野市水道事業会計補正予算（第1号）
 議案第44号 小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 議案第45号 字の区域の変更について（県営万勝寺脇本地区は場整備事業に係るもの）



審査の結果、反対討論はなく、全会一致で認定・可決すべきと決まりました。

9月定例会の提出議案審査について、9月25日に総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、議案第32号から議案第45号の14議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会に付託された議案及び審査結果は、次のとおりです。

平成27年9月定例会の議決結果（賛否の分かれた案件）を公表します

議決結果	無会派 (1人)	無会派 (1人)	無会派 (1人)	無会派 (1人)	公明党 (2人)	改革クラブ (3人)			市民クラブ (7人)					会派名 (9月28日現在の所属人数) 議員名		
	河島信行	椎屋邦隆	山本悟朗	藤原章	竹内修	川名善三	富田和也	河島三奈	加島淳	久後淳司	平田真実	小林千津子	高坂純子	前田光教	岡嶋正昭	山中修己
可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
平成27年度小野市一般会計補正予算（第2号）																

※ 前田光教議員は、議長のため表決権はありません。

賛成＝○

反対＝●



縄遊び大好き（みやま保育園）

（一般質問は発言した議員が編集しました）

平成27年 9月定例会

市議会HP内の「ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス:<http://www.ono-sigikai.jp/>

一般質問発言者

高坂純子議員

- ・イノシシ等有害鳥獣対策について
- ・国民健康保険事業の状況と運営について

河島三奈議員

- ・給食センターの整備について
- ・地域包括ケアシステムの構築について

久後淳司議員

- ・企業誘致について
- ・6次産業化の推進について
- ・議案第36号 平成27年度小野市一般会計補正予算（第2号）について

平田真実議員

- ・地場産業について
- ・市民との協働によるまちづくりについて
- ・ICT政策について

岡嶋正昭議員

- ・議案第42号 小野市不法投棄防止条例の制定について
- ・小野市役所庁舎の建て替えについて
- ・平成26年度決算について

山中修己議員

- ・介護保険制度の改正について
- ・河合配水池改修計画について

山本悟朗議員

- ・前谷川の改修について
- ・「住むならやっぱりおの」小野市の住みやすさについて

富田和也議員

- ・ふるさと納税制度について
- ・そろばん後継者育成事業について
- ・北播磨フラワーマイスター制度について

椎屋邦隆議員

- ・これからの教育環境整備について
- ・選挙権年齢引き下げへの対応について
- ・市職員のメンタルヘルスケアについて

藤原章議員

- ・議案第42号 小野市不法投棄防止条例の制定について
- ・マイナンバー制度について

- ・「東条川疏水」改修計画について
- ・戦没者慰霊・平和祈念の施策について

河島信行議員

- ・神戸電鉄栗生線の存続について
- ・学校教育施設整備について
- ・栗田橋の通行止めについて

竹内修議員

- ・小野市地域防災計画について



市民クラブ
高坂純子議員

イノシシ等の有害鳥獣対策について

質問 小野市の被害状況について

答弁 平成21年度から平成26年度までの農作物被害金額は、2,280万円。イノシシの他、アライグマの被害も発生している。
(市当局)

質問 有害鳥獣の捕獲は県猟友会小野支部に委託しているが、構成員が高齢化し、人数も減少している。幅広く狩猟免許を取得できるような対策はできないか。

答弁 狩猟免許取得の受験料や登録料等を新たな助成項目に加えることも検討する。
(市当局)

質問 地域を挙げて侵入防止柵の設置に取り組む農会もある。地域ぐるみの対策が必要と考えるが。

答弁 今年度は8地区から侵入防止

柵の申請があるが、国の予算配分の減少で、申請距離の約40%の助成見込み。地域ぐるみで研修会や講演会を開催し、設置状況や対策方法を学ぶ場を提供する。
(市当局)

有害鳥獣対策は、広域連携なくして成果なし。警察官や自衛官OBなどで専門的な組織を作り、根本的に駆除することも一案。
(市長)

国民健康保険事業の現状と運営について

質問 保険給付費の抑制には、ジェネリック医薬品利用が有効と考えるが現状は。

答弁 平成27年6月診療分の利用率は37%。国は目標を平成29年度までに60%としている。先発医薬品と同じ有効成分で、効能や安全性が同等と認められてから発売される。医療機関窓口で使用できる「ジェネリック医薬品カード」を配布する等、使用促進に努める。
(市当局)



改革クラブ
河島三奈議員

給食センターの整備について

質問 現在の事業の進捗状況及び今後の予定について

答弁 新施設の用地買収、造成工事は完了した。施設の中核となる厨房機器の選定は本年7月に事業者公募を行い、プロポーザル方式での選考を経て技術的意見、協力を得られる事業者を決定し、実施設計に反映させる。新施設での調理開始は、平成29年9月頃を予定している。食物アレルギーは、全てに対応することは不可能なため、卵・乳製品の二種類の除去をすすめる。
(市当局)

地域包括ケアシステムの構築について

質問 医療・介護連携について

答弁 今年6月に医師会や介護サ一

ビス事業者などの各種団体から委員を選出し「小野市在宅医療・介護連携推進会議」を立ち上げ、推進体制を整備した。第1回会議では今後の連携の在り方と取組の方向性について情報共有を図り、10月の第2回会議では、連携マニュアルの整備等具体的な体制整備について検討する予定。
(市当局)

質問 認知症高齢者対策について

答弁 認知症の状況に合わせた適切なサービス提供の流れを整理した「認知症ケアネット」を作成している。また、認知症への正しい理解と地域の見守りを強化するため、市職員2名が認知症地域支援推進員の資格を取得するなど、体制の充実を図っている。加えて、新たに「認知症初期集中支援チーム」を設置するほか、認知症への理解を深める教育のために小学生を対象に学習の機会を設ける予定である。
(市当局)



市民クラブ

久後 淳司 議員

6次産業化の推進について

質問 加工支援施設と市のサポートについて

答弁 農産物の加工に関しては、1次生産品である農産物をどのような加工品に仕上げていくかによって、様々な製造工程があり、それらに必要な設備や備品も異なる。多様な品目の支援には、それぞれの事業者の計画に沿った支援が必要であり、加工設備を市が保有して時間貸しするような形態でのサポートは、困難であると考えます。

市としては、加西農業改良普及センターやJA兵庫みらいと連携し、国・県の補助金を活用した設備投資や商品開発に係る支援や、流通業者とのマッチングによる販路開拓・経営診断等の支援を、今後も継続して行っていく。

(市当局)

地場産業について

質問 後継者育成について

答弁 業界自らが後継者育成の戦略を構築した上で、地方創生に向け播州刃物製造職人等の伝統的工芸品の後継者育成に係る継続的な支援策を今後検討する。

(市当局)

質問 産業フェスティバルにより商品の付加価値を高める取組としてはどうか。

答弁 変化しつつある産業フェスティバルだが組織と機能を改めて再構築し、考えなければならぬ。

(市長)

市民との協働によるまちづくりについて

質問 対象を括らず様々な世代が参加できる事業を増やしていくべきだと考えるが当局の考えを問う。

答弁 地域で主体的に組織された



市民クラブ

平田 真実 議員

「地域づくり協議会」での活動に代表されるように、今も自主性・主体性を持って取り組んで頂いている。若者が参画するにはどうすればいいか、各地域でそれぞれの組織が自ら考えていく必要がある。

(市長)

ICT政策について

質問 アンケートや職員採用応募の際のWEB化、WiFiフリースポットの今後の展望、小野市電子自治体推進指針の今後の改定について

答弁 アンケートは、公平性の観点から紙を残した形で実施し、職員採用は、ICTの進展による時代の要請を踏まえ十分研究する。利便性だけでなく観光地としての発信や災害時の避難所での利用等フリースポットを将来、有効的に活用していきたい。市の指針は基本的な内容に変更はないが、強固なセキュリティを備えた上で、今後も市民の満足が得られる電子自治体を推進する。

(市当局)

質問 ベンチャー企業など成長産業の参入促進について

答弁 小野市には米国のシリコンバレーのようなベンチャー企業の集積地ではないが、市内では小野工業団地を中心に、国内トップメーカーを含む先端技術企業が、活発な企業活動を展開されている。

本年度より、創業・起業を生み出す施策として、「創業支援事業計画」を策定し、国から事業計画の認定を受けており、この計画に基づき、市に創業支援相談窓口を設けた。また、創業支援策として、本年7月から8月の4日間、計8講座の創業塾を開講し、「経営・財務・販路開拓・人材育成」をテーマとして、創業に対してのサポートの充実を図っている。

(市当局)



市民クラブ

岡嶋 正昭 議員

市役所庁舎の建替えについて

質問 庁舎建設の費用について

答弁 現庁舎は、昭和39年に完成し、51年目を迎えている。台風等の際には風雨が入り込むほか、屋根や外壁の劣化、機械設備の老朽化、電気設備の容量不足、部材の廃番に伴う修理困難等の課題を抱えている。

建設に係る概算事業費は、用地買収や実施設計を含めて、約50億円。財源は、公共施設整備基金と地方債の借入を予定している。（市当局）

新庁舎建設の場所は、公共施設の集積・市民の利便性・将来発展の可能性等によりシビックゾーンが最適地と考えている。

今年10月1日から新庁舎建設準備室を設置し、平成32年4月竣工予定。また、移転に伴い庁舎跡地も、市街地における再開発が見込まれ、小野市の発展につながる。（市長）

質問 他の投資事業への影響について

答弁 新庁舎建設にあたり、今後の投資事業をゼロベースで見直す。新都市中央線や浄谷黒川丘陵地の多目的広場等、既に着手している補助事業や給食センターは継続する。

なお、ひまわりの丘公園や浄谷黒川丘陵地グラウンドゴルフ場は、スケジュールを延伸し、事業着手を遅らせる予定。（市当局）

不法投棄防止条例の制定について

質問 不法投棄の実態について

答弁 不法投棄発見処理件数は5年前から若干減少しているが横ばい状況。これらのゴミ処理に、年間約1,500万円の経費を使っている。生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、本条例を制定するものである。（市当局）



市民クラブ

山中 修己 議員

介護保険制度の改正について

質問 平成27年度制度改正による変更点について

答弁 自己負担割合について、一律にサービス費の1割ではなく、一定以上の所得のある人は2割負担となった。2つ目は施設への入所において、市民税非課税世帯対象に食費・居住費等が軽減されてきたが、この内、単身で預貯金等が1千万円を超える資産のある人等は対象外となった。以上の実施は今年8月から。3つ目は要支援1と2の人の訪問・通所介護が地域の実情に応じた新たな事業へ移行する。これは平成29年4月からで、要支援認定者の実態調査結果を整理し、検討している。今年4月から、特養への入所要件も原則要介護1から3に変更となっている。（市当局）

河合配水池改修計画について

質問 平成25年度から着手する計画と聞いていたが、進捗状況を伺う。

答弁 予定どおり進めていたが、今年度3点課題が出たため、見直しが必要となった。この1、2年を用途に検討する。課題の1点目は劣化耐震調査により、補強工事で耐震基準がクリアでき、新たな築造は国庫補助が受けられないこと。2点目は紫外線処理施設が、過去に大腸菌の発生が一度もないことから、補助採択が難しいこと。3点目は隣に位置していた青野原病院の移転により、跡地の開発状況を計画に加味する必要があること。

なお、整備順序を変更し、今年度から3年間、2箇所の送水管の老朽管敷設替工事に着手する。（市当局）



無会派
山本悟朗議員

前谷川の改修について

質問 前谷川の知子谷橋からJR加古川線の鉄橋までの区間の改修について伺う。

答弁 同事業については、平成26年から事業着手しており、国の交付金採択の時期にもよるが、平成30年事業完成を予定している。

これに併せて、JR鉄橋上流部においても改修を予定している。

(市当局)

「住むならやっぱりおの」小野市の住みやすさについて

質問 人口減少社会における市内各地域の人口動向について伺う。

答弁 市内地域別の人口減少の程度は、調整区域において顕著になると考えている。この課題を解決するために、「特別指定区域制度」を活用したまちづくりを平成18年度から実

施しており、成果の現れている地域もある。本年は都市計画マスタープランの策定年度であり、併せて当該制度の見直しを進めている。各自治会から、地域の実情に合った、また地域の活性化につながる提案をお待ちしている。

(市当局)

質問 市民を対象にした「まちづくりアンケート」の集計結果が先日発表された。これによると、下東条・河合・来住地区において「買物の不便さ」に不満を感じる市民が多いことがわかる。今後の市の対応について伺う。

答弁 買物の不便さを解決する方法としては、「らんらんバス」をさらに充実させることにより、超高齢社会に対応した公共交通ネットワークを確立することで、解決を図っていく。

また、従来とは違う新たな形態の移動販売の取組についても研究したい。

(市長・市当局)



改革クラブ
富田和也議員

ふるさと納税制度について

質問 納税者への返礼品として募集している「ふるさと納税の逸品」のラインナップを増やすことで、選択肢も広がり、市内事業所の育成にも繋がると考えるがどうか。

答弁 現在申し込みのある品目について、まず全国の皆様に小野市の特産品として知って頂き、広くPRしていきたい。

(市当局)

質問 (仮称)「小野市民が選んだ厳選100選」を返礼の品に加えPRしていくことで地域産業の活性化と誇りづくりに寄与すると思うがどうか。

答弁 広聴制度の一環として設けている、まちづくりモニター制度を活用し、市民の方の意見を聞いていきたい。

(市当局)

そろばん後継者育成事業について

質問 国の緊急雇用創出事業を活用した播州算盤後継者育成事業が昨年終了したが新たな育成支援について

答弁 地方創生に向けた小野市版総合戦略策定の議論の中で後継者育成支援策を検討していく。

(市当局)

質問 算盤製造は熟練を要するため、就労者と共に雇用者にも継続した助成金の支給が有効と考えるがどうか。

答弁 やる気のある方には、数年間継続して支援をしていきたい。

(市当局)

北播磨フラワーマイスター制度について

質問 (仮称) ONOフラワーマイスタースクールを設立し、講座やセミナーを開催することで老若男女の方々の趣味や活動の場が広がると考えるがどうか。

答弁 マイスターの認定を受けた方々の意向を伺いながら、当該法人等の自立に向けた支援策を検討していく。

(市当局)



無会派
椎屋邦隆議員

教育環境整備について

質問 砂塵が児童に与える健康被害防止、熱中症対策、はだしの教育等の効果を考え、小学校の屋外運動場の芝生化を進めるべきではないか。

答弁 芝生化の利点は想定されるが、多額の初期投資や管理、運用面で大きな課題があり、直ちに実施できるものではない。
(教育長)

教育現場の提案制度について

質問 提案制度は、学校業務の改善に役立つ。校長会や教職員で構成する委員会での提言から、おの検定、教室のエアコン整備、小中一貫教育の推進なども実現した。
(教育長)

選挙権年齢引き下げへの対応について

質問 現時点での進捗状況について

答弁 市内の小中学校から、県選管への出前授業の問い合わせはない。

今秋、文科省から高校生向けの副教材が作成配布される予定。

(選挙管理委員会委員長)

質問 将来的な取組として、諸外国のユース議會を模範とする、若者主体の小野若人議會を提案する。

答弁 ヤングジェネレーションフォーラムや団体別座談会等、市政運営を知り、関心を持つってもらう場があり、若人議會は考えていない。
(市当局)

市職員のメンタルヘルスケアについて

質問 市職員の日頃の頑張りが市政を支えている。市職員のメンタルヘルスケアについて問う。

答弁 ストレスチェックを昨年度から実施している。また、研修やセルフケア用の冊子も全職員に配布している。当市の長期病休者は全国平均を下回っているが、今後も取組方針を検討していく。
(市当局)



日本共産党
藤原 章議員

不法投棄防止条例について

質問 土地所有者は無断で無法にゴミを捨てられる被害者であり、防止策を講じる場合は手厚い助成をするべきではないか。

答弁 助成率や上限を高くすると、設備を設置しやすくなる良い面があるが、本来、土地所有者には不法投棄防止に努める責務があり、半分程度が妥当と考えている。
(市当局)

マイナンバー制度について

質問 補正予算に、マイナンバーカードによる住民票等のコンビニ交付関連経費が計上されている。情報の利活用は状況を見て慎重に対応するべきではないか。

答弁 コンビニ交付は市役所の閉庁時間でも利用でき、全国で取得できる。市民の利便性を向上させるため、いち早く実施したい。
(市当局)

東条川疏水改修事業について

質問 農業用水として、また小野市民の水道用水として重要な役割を持つ東条川疏水が大規模改修されると聞いたが、事業計画を尋ねる。

答弁 本年度から詳細調査を行い、平成31年度着工を目的に、鴨川ダムや幹線水路の改修、ダム放流水による小水力発電、船木池など主要ため池の耐震補強等を約100億円の事業費で行う予定。
(市当局)

戦没者慰霊事業について

質問 小野市の戦没者の数と今後の慰霊事業のあり方を問う。

答弁 小野市の戦没者は遺族会の名簿によると1,265人。慰霊祭は7地区の遺族会が日を統一し、市長が巡拝慰霊を行ってきたが、市長巡拝は遺族会の申出により今年で終了する。各地区で適時開催される慰霊事業への支援は継続する。
(市当局)



無会派
河島信行議員

新粟田橋の完成について

質問 一日も早い「新粟田橋」の完成を地元住民は望んでいる。完成時期を伺う。

答弁 「新粟田橋」は平成28年7月末までに完成する予定。また、粟生町側及び住永町側の道路拡幅改良工事も8月初旬に完成予定で、お盆までに全線開通すべく取り組む。

(市当局)

河合小学校及び河合中学校の統合校舎の実現について

質問 真の小中一貫教育を行うために河合小・中学校の統合校舎の実現が必要と考えるが、検討状況について伺う。

答弁 今のところ現状の分離した形態で一貫教育を進めていくこととしており、統合校舎の整備計画は考えていない。今後、河合小・中学校が1学年1学級になったときに改めて考える。

(教育長)

小野南中学校改修について

質問 小野南中学校の改修時期を伺う。

答弁 大規模改修は国の補助採択を得たうえで対応する。

(市当局)

神戸電鉄の存続について

質問 神戸電鉄粟生線の存続は小野市の将来を見据えて必要である。

特に、高校生や大学生の通学手段として、粟生線は絶対に必要な公共交通輸送機関と考えるが、検討状況について伺う。

答弁 存続が前提であることは関係者の共通認識として理解しているの

(市長)



公明党
竹内 修議員

平成26年修正地域防災計画について

質問 兵庫県の防災計画の変更に準じて小野市の防災計画も地域が被る被害想定などの変更により修正がなされた。ただ、計画には市民の詳細な行動が書かれていない。市内の被害等の情報を、市民はどのように知ればいいのか伺う。

答弁 南海トラフ巨大地震は、今後30年の間に70%の確率で発生すると言われ、また山崎断層地震も想定すると、連絡や情報収集は極めて重要である。市では拠点避難施設に、優先して使用可能の特設公衆電話を設置している。また、停電時対応においては移動系デジタル防災行政無線も各所に整備し、携帯電話対策では、途絶えた基地局も移動無線車で3〜4時間で復旧すると確認している。

他に災害伝言ダイヤル、小野市安全安心メール等を利用すれば必要な情報を得られる。

(市当局)

質問 災害時要援護者の情報の共有はどうするのか伺う。

答弁 要援護者の関係する市民福祉部や社会福祉協議会、消防本部や自主防災会、民生委員と情報の共有を図り協力者と安否確認を行う体制を整えている。

(市当局)

災害時の食料の確保について

質問 各家庭では最低3日間の食料を確保してほしい。市は民間業者と応援協定を締結しており、市保有アルファ化米6,000食に加え、JA兵庫みらいから保有米が当日届き、県プロパンガス協会の機材でその日のうちにご飯が炊ける。また、水は市内配水地より自衛隊や市の給水車で各避難所に提供する。

(市当局)

平成26年度 各会計決算を認定

- 議案第32号 平成26年度小野市歳入歳出決算の認定について
 議案第33号 平成26年度小野市都市開発事業会計利益の処分及び決算の認定について
 議案第34号 平成26年度小野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
 議案第35号 平成26年度小野市下水道事業会計決算の認定について

一般会計、特別会計及び企業会計の決算について、全議員出席による決算研修会を3日間にわたり開催し、詳細な審査を行ったうえで、9月定例会で認定しました。

これは、従来9月定例会において、決算特別委員会に審査を付託し、10月に審査、12月定例会で決算の認定をしておりましたが、一方で、決算の概要は市当局から9月には市民のみなさんに公表されていることもあり、早期に審査するよう改めています。

決算研修会

開催日時	審査した部局名
8月26日(水) 10:00~16:30	総務部、市長公室、総合政策部、教育委員会
8月27日(木) 10:00~16:30	地域振興部、消防本部、水道部、会計課、農業委員会、選挙管理委員会・監査事務局・公平委員会等
8月28日(金) 10:00~16:00	市民安全部、市民福祉部

※研修会には、各部局の部長、課長をはじめ、担当係長等にも出席を求め、実施事業等について詳細な説明を求めた。

平成26年度決算総額

337億円

※一般会計、特別会計及び企業会計の歳出総額



◎実施した重点項目

- 「子ども・子育て、教育環境の充実」
- 「安全・安心な未来の創造」
- 「快適で、便利な都市基盤の整備」
- 「市民力による地域づくりの推進」

基金(預金)残高 92億3千万円
(前年度から1千万円の増加)

地方債(借金)残高 189億円
(前年度から1億円の増加)

※基金残高は、過去最高。地方債残高の実質的な負担額は189億円のうち約47億円。
(142億円は、後年度に国から補填されるため)

実質公債費比率:7.6% (前年度より1.5%改善)

※税込や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合

※早期健全化基準:25% 財政再生基準:35%

将来負担比率:表示数値なし (-24.8%:前年度より4.4%改善)

※税込や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来負担すべき借金等負債の割合

※早期健全化基準:350%

議会運営委員会行政視察報告

平成27年7月21日(火)～22日(水)

①愛知県犬山市

議会改革の取組について



議会改革推進委員会が平成22年5月に設置され、議会改革に取り組まれている。

同委員会は、犬山市議会の過半数の議員（有志）により組織され、「議会基本条例」をもとに議会改革を推進。

特徴として、活動内容が市民の方から見えるように、「議会だより」やホームページで、原則全ての会議録（定例会・各常任委員会、議員協議会等）を公開しているほか、ユーストリームによる会議の生中継や地元ケーブルテレビに定例会の様子を取材依頼して放映するなど、広く市民へのアピールを行っている。

〈主な改革への取組事項〉

- ・ 政務活動費・委員会の会議録をホームページで公開
- ・ 議会基本条例の制定
- ・ 市民等との意見交換の場の設定・常任委員会ごとに関連団体との懇談会を実施

②愛知県一宮市

議会改革の取組について

一宮市議会では、「議会基本条例」を制定せず、議会報告会、意見交換会等を実施している。また一問一答方式の採用・反問権の付与、各種会議の会議録の公開等に取り組む中、議会運営委員会等において様々な課題が提起され、常に議会改革に取り組んでいる。

この度の視察では、「議会基本条例の制定」を改革の依拠とするか否かについて、違った取組をされている市議会を訪れ、研修を実施した。取組方法は、それぞれの市議会の考え方に基づくものであり、小野市議会でも「158項目の申し合わせ事項」を基本ベースにし、随時、改革・改善を行っている。今後もこの両市議会での取組を参考に、「開かれた議会」「信頼される議会」を目指し、改革に取り組んでいきたい。



議会運営 委員会とは？

議会運営委員会は、地方自治法第109条の規定に基づき小野市議会委員会条例により設置され、その名称及び定数が定められています。委員会では、次に掲げる事項に関する調査を行い、議案、陳情等を審査します。

1. 議会の運営に関する事項
2. 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
3. 議長の諮問に関する事項



会派行政視察報告（市民クラブ・公明党）

（市民クラブ）

岡嶋正昭、山中修己、高坂純子、前田光教、小林千津子、平田真実、久後淳司

（公明党）

川名善三、竹内 修

（1）平成27年7月27日（月）

沖縄県糸満市「子育て支援センター『ぬくぬく』について」

（人口：約6万人、面積：46.63Km²）

《視察内容》

- ・ 主な活動内容
育児相談や訪問・育児講座等を行い、保育交流、保育体験、子育て広場、一時預り事業等を実施している。
- ・ 座波保育所に併設 平成15年5月開設
- ・ 職員数 5人
- ・ 平成25年度予算 1,615万円
安心こども基金事業、平成26年度は、「保育緊急確保事業」により実施。



《所 感》

糸満市は、沖縄本島の最南端、那覇市から南へ12kmのところに位置しており、那覇市のベッドタウンでもある。出生率は1.99で、近年人口が微増傾向にあり子育てのための施設（保育所等）が充足していない。しかしながら、平成30年頃には就学前児童の減少が始まるようで、子育て施策に力を入れ、次世代を担う若者を育てる取組に重点を置かれている。

小野市では、待機児童はないが、市内14園の保育所の規模の大小が顕著になってきており、小学校の統廃合も踏まえて、幼・保・小が連携した幼児教育を考えなければならないようになってきていると感じた。

（2）平成27年7月28日（火）

沖縄県名護市「『名護アグリパーク』における取組について」

（人口：約6万2千人、面積：210.37Km²）

《視察内容》

名護市では、農業生産額がここ20年で約6割に減少。農家所得の安定に向けた新しい取組として、「名護アグリパーク」の建設となった。この施設は、施設の核となる農産物等の加工による高付加価値化を目指す加工研究所、「健康、美容、長寿」を販売するアグリショップ「しまちゅらら」、また、来年には観光農園と地域農産物が食べられるレストランがオープン予定で、名護市の6次産業化推進の拠点施設となる。



《所 感》

この施設は、平成24年度から市民の強い要望により「沖縄振興特別推進交付金」を活用して整備されたもので、平成26年3月に完成した。

農業就業者の高齢化や後継者不足の深刻化などの課題の打開策として、6次産業化に取り組んでいるが、当施設を利用し商品開発等が軌道に乗るまでには相当な時間と労力が必要なようで、資金力や販売力に乏しい農業者にとっては、行政の積極的な支援は不可欠である。

名護市では、この施設を様々なノウハウを持つ「一般財団法人沖縄美ら島財団」（沖縄美ら海水族館や国営沖縄記念公園、県営首里城公園を管理運営）を指定管理者として業務委託し、販路開拓にも積極的に取り組まれており、今後の推移を注視していきたい。

会派行政視察報告（改革クラブ）

加島 淳、河島三奈、富田和也

（1）平成27年7月28日（火） 千葉県木更津市「学校給食センターについて」

（人口：約13万3千人、面積：138.73Km²）

《視察内容》 この施設は、木更津市初のPFI事業（民間資金等の活用による公共施設等の整備）として、平成21年4月に稼働を開始した。中学校給食の完全実施と学校給食の水準向上を目指し、安全で質の高い給食の安定した提供を行っている。食物アレルギーの対応は、①除去食、②詳細な献立表による情報提供、③完全弁当の各対応で行い、代替え食での対応は実施していない。また、食物アレルギー対応のためのガイドラインを作成し定期的に見直しをする予定。食材は、できる限り市内の野菜を使い地産地消を目指している。

《所 感》 アレルギー対応食の代替えをしないという方法は、児童・生徒の自分の体に対する危機意識醸成にも役立っているものと考ええる。また、食物アレルギーの情報把握は、栄養士が聞き取るのではなく、保護者が記入用紙に直接記入することで、聞き逃しのリスクを軽減している。今後の小野市の給食センター整備においては、ハード面だけではなく、食物アレルギー対応や食育などソフト面の取組を注視していきたい。

（2）平成27年7月29日（水） 千葉県南房総市「道の駅とみうら枇杷倶楽部について」

（人口：約4万人、面積：230.22Km²）

《視察内容》 この施設は、平成5年に開設した千葉県初の道の駅で、「道の駅グランプリ2000」で最優秀賞を受賞した。単年度収支は黒字、累積赤字も無く、南房総市内への地域波及効果は約2億4千万円。

加工事業は、「小さくてもプライスリーダーに」を目標に、市場に出荷できないが希少価値のある特産の枇杷（ビワ）を加工し、商品開発を進め、現在約30アイテムを開発済である。

《所 感》 南房総市は、平成18年3月に6町1村の合併により発足した。房総半島の南西端に位置し、ビワを中心とした農業、豊かな磯資源を活用した漁業及び海水浴等の観光業を中心として発展してきた地域である。しかしながら、海水浴客の減少や若年層を中心とした人口が減少しており、後継者不足が大きな課題となっていた。この施設を通じて、地域の資源を効果的に管理することにより、現在は、花摘み、イチゴ狩りなどの観光業も発展し、冬期にも観光客が訪れている。



（2）平成27年7月29日（木） 千葉県鴨川市「小中一貫教育について」

（人口：約3万3千人、面積：191.30Km²）

《視察内容》 鴨川市「長狭学園」は、千葉県内初となる統合型小中一貫校として平成21年4月に創設。人口減少が進む中、より良い学校教育を目指すため、義務教育9年間を見通した教育への転換が有効と考えられ、地域の次代を担う活力ある子どもの育成を目標に、前期4年、中期3年、後期2年の9年間の学びの連続性を捉えた教育課程により、確かな学力と豊かな心を育てている。

《所 感》 昭和22年学校教育法が施行されてから60年が経ち、今、新しいことを始めるのには、「子ども達のより良い教育環境を創出する」という強い情熱を持って積極的に進めていかなくては実現できないと感じた。小中一貫校の最大のメリットが、単に教職員数や学校数削減等の行政改革ではなく、「地域の宝」である子ども達にとって、より良い教育環境をつくることこそ最大のメリットにならなければいけないと感じた。



◎議会の動き◎

【8月】

- 1 日 小野市ひまわり杯少年野球大会
- 4 日 民生地域常任委員会研修会
- 5 日 基地協議会近畿部役員会・総会(滋賀県大津市)
- 6 日 小野市珠算競技大会
- 7 日 総務文教常任委員会研修会
- 10日 北播衛生事務組合監査
- 11日 改革クラブ研修会
- 12日 総務文教常任委員会研修会
- 17日 北播磨総合医療センター企業団議員総会
- 18日 民生地域常任委員会研修会
- 22日～23日 小野まつり
- 24日 議会運営委員会
 - 〳 市議会報編集委員会
- 25日 小野加東広域事務組協議会議員協議会・議会
- 26日 決算研修会(第1日)
- 27日 決算研修会(第2日)
- 28日 決算研修会(第3日)
- 30日 兵庫県・播磨広域合同防災訓練
- 31日 9月定例会(第1日)

【9月】

- 3 日 北播磨総合医療センター企業団議会
 - 〳 北播政経懇話会(加西市)
- 4 日 市民クラブ研修会
- 6 日 黒川西土地区画整理組合総会
- 12日 中学校体育祭
- 17日 9月定例会(第2日)
 - 〳 議会運営委員会
- 18日 9月定例会(第3日)
- 24日 小野加東加西環境施設事務組議会定例会
- 25日 総務文教常任委員会・民生地域常任委員会
- 26日 観月茶会
- 28日 9月定例会(第4日)
 - 〳 議員協議会
 - 〳 民生地域常任委員会研修会

【10月】

- 1 日 西脇市制10周年記念式典(西脇市)
- 3 日 幼稚園運動会
- 5 日 世代をつなぐ体育祭
 - 〳 行政視察来市(愛知県犬山市)
- 6 日 総務文教常任委員会研修会
- 7 日 小野市都市計画審議会
 - 〳 行政視察来市(北海道名寄市)
- 10日 ひまわり杯サッカー大会
- 14日 行政視察来市(福岡県那珂川町)
 - 〳 小野市研究発表会
- 16日 北播磨子ども発達支援センター事務組協議会(加東市)
- 16日～17日 北はりまビジネスフェア企業大交流会
- 17日～18日 産業フェスティバル
- 20日 行政視察来市(栃木県小山市)
- 21日 保育園ふれあい運動会
 - 〳 行政視察来市(福岡県大川市)
 - 〳 市議会報編集委員会
 - 〳 近畿市議会議長会研修会(尼崎市)
- 23日 行政視察来市(静岡県浜松市)
 - 〳 小野警察署庁舎内覧会
- 27日 行政視察来市(千葉県成田市)
- 28日 川島隆太教授講演会
- 29日 兵庫県議会議長会正副議長研修会(神戸市)
 - 〳 民生地域常任委員会研修会
- 31日 好古館特別展

ぜひ、傍聴にお越しください

12月定例会は、次の日程で開催いたしますので、ぜひこの機会に、議会の傍聴にお越しください。

12月定例会日程

11月27日(金) 午前10時～	本会議(第1日)
12月17日(木) 午前10時～	本会議(第2日)
	※一般質問実施
12月18日(金) 午前10時～	本会議(第3日)
	※一般質問実施
12月25日(金) 午後1時30分～	本会議(第4日)

定例会の第2日(17日)、第3日(18日)は、議員の一般質問を行います。

一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。なお、一般質問の内容は、質問が行われる日までに市議会ホームページで公開します。

傍聴の手続きは、本会議の当日に本庁舎5階の受付で傍聴者名簿に記入するだけです。なお、傍聴席は34席で、先着順となります。傍聴席が満席の場合は、第2委員会室(傍聴者休憩室)でテレビでの傍聴(ライブ中継)となります。

「託児コーナー」開設します

一般質問が行われる12月17日(木)、18日(金)の午前中は、「託児コーナー」を開設します。就学前のお子さまをお持ちの保護者のみなさまも議会を傍聴していただくことができます。ご希望の方は、12月7日(月)までに議会事務局にお申し込みください。

傍聴者休憩室を開設します

一般質問が行われる2日間は、傍聴の方が休憩していただけるように議場の隣に傍聴者休憩室を開設しています。セルフサービスのお茶も用意していますので、お気軽にご利用ください。

自宅に居ながら議会の傍聴

《市議会LIVE中継実施中》

議会の本会議(定例会・臨時会)が行われているときは、インターネットで生放送がご覧いただけます。また、過去に行われた本会議の録画も同様です。いずれも小野市議会ホームページからご覧ください。

LIVE市議会中継 小野市議会

検索